

令和4年度第1回奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会委員意見への担当課回答一覧

資料	事業	担当課	質問内容	質問者	担当課回答
令和3年度事業評価シート (協働事業)	NO.12「おはなし会」	中央図書館	毎年度目標値に実績値が届いておらず、令和2年度からはコロナ禍の自粛により一層実績値に未到達の状況が続いているが、年度ごとの実施回数を伺いたい。 また、目標達成のために新たな事業展開方法は検討されておられるのでしょうか。 協働相手の評価がすべて【3】となっている理由はなにかあるのでしょうか。	濱田委員	コロナ禍で開催縮小するまでは、毎週土曜日及び第2・第3日曜日で月6日、一日の開催で2回開催しており、秋と冬に特別開催のおはなし会を実施していました。また一回の参加者は多い時で15人程度でしたが、近年は第2・第3日曜日のみの開催で、一回の入室を3人に制限し、一日の開催数等を調整しています。 コロナ対策の緩和等に従って開催数や一回あたりの人数を増やすことが出来ると考えていますが、少子化による参加者減なども見極め将来的な目標設定については検討していきます。 団体としては多くの子どもを対象に実施したいという意向をお持ちのところ、コロナ対策のため一回の入室を3人まで、時間も15分程度と制限する形で実施いただいたので、よりよい形での実施を望まれていることが考えられます。感染状況等を見ながらになりますが、来年度においては人数制限の緩和等、本来の形に戻し、事前周知の回数を増やす等の対策を講じての開催を団体とも調整し、目標値の達成を目指していきたいと考えています。
令和3年度事業評価シート (協働事業)	NO.24「奈良市都祁体育館の運営」	都祁行政センター 地域振興課	全利用者のうち、都祁地区住民の利用率はどれくらいでしょうか。	濱田委員	全利用者のうち、都祁地域住民の利用率は算出できませんが、利用申請数420件の内、都祁地域住民の申請は274件で利用率は65.2%になります。
令和3年度事業評価シート (協働事業)	NO.32「視覚障がい者向け広報等発行事業」	障がい福祉課	協働相手の意見はあるが評価がない。なぜなのか。	矢本委員	協働相手へのヒアリングを実施した際に、「ボランティアで構成されており、細かな評価が難しい。」とご意見を頂戴しました。そのため昨年度と同様に、「協働相手の意見」のみ回答頂きました。
令和3年度事業評価シート (協働事業)	NO.52「アダプトプログラム推進事業「さわやかクリーン奈良」」	地域づくり推進課	参加団体が年々増加しているが、行政の評価と協働相手の評価が乖離している要因は何なのでしょうか。 別紙アンケート結果をお示しください。	濱田委員	参加団体に「市との協働についての自己評価」(アダプトプログラムに関するアンケートまとめ P4 記載)という項目でアンケートを行っており、その結果を「協働の原則に基づいた評価項目」に割り振っていますが、大まかな内容に沿って割り振りを行っており、質問項目のニュアンスの違いなどが生じることから評価が乖離した要因と想定されます。今後はアンケートの協働における質問項目の変更を検討します。
令和3年度事業評価シート (協働事業)	NO.76「まちづくり振興事業「月ヶ瀬地域振興協議会」」	月ヶ瀬行政センター 地域振興課	R3年度の事業評価シートには継続とあるが、R4年度の実施計画シートに掲載されていない。なぜなのか。	矢本委員	本事業について、第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画実施計画において掲載していましたが、月ヶ瀬地域振興協議会が市の補助金を得て地域の自主事業を実施しているという事業内容であることから、第3次計画の計画開始(令和4年度～)にあたり、協働事業として掲載することを見直したためです。なお、事業自体は継続しています。
令和4年度実施計画シート (協働事業)	NO.36「認知症サポーター養成講座」	福祉政策課	目標指標が「5ヶ年で21000名」とあるが、R4の目標値が33200名、R3の実績値が28886名で、目標値設定の基準がよくわからない。	矢本委員	前回計画時のR3年度目標値は26,000人でしたが、R3年度実績値は28,886人と目標値よりも高い値となりました。第5次総合計画でも50,000人と設定しており、5年間で21,000人(4,200人×5年)の養成者数を見込んでいます。